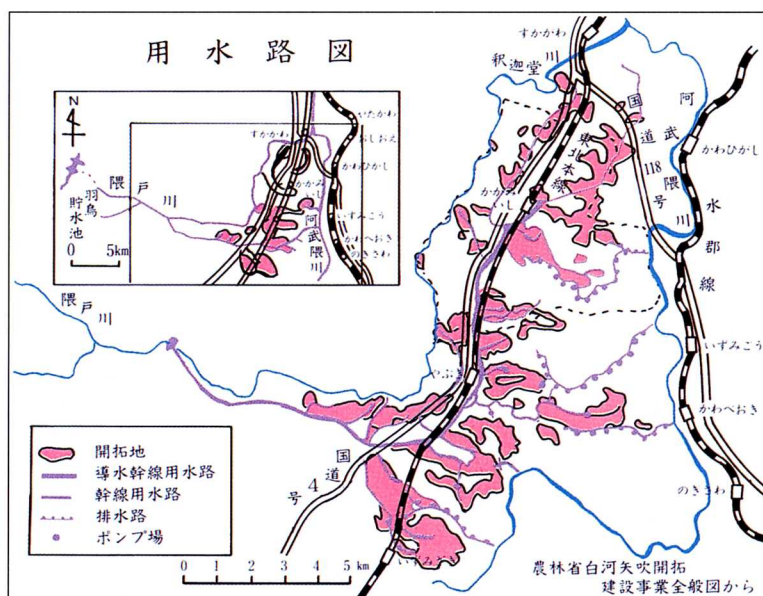


しかし、県では、あまりにも大きな計画であり、たくさんのお金がかかる工事なので、取り上げてはくれませんでした。

羽鳥用水の計画

1941年（昭和16年）になり、ようやく国は矢吹が原を開く大がかりな工事にのりだしました。この計画は、吉右衛門が県に願い出てから56年の長い間かかって実現されることになりました。



人々は、計画が実現するまで56年もまっていたんだね。



羽鳥から鏡石までは何kmぐらいあるのかしら。

工事の苦労

1941年（昭和16年）羽鳥用水の工事は、まず、羽鳥地区にダムを作る工事から始められました。ここには、47軒の家があり、300人の人が住んでいました。ダムのために家がしずんでしまうので、多くの人が反対しました。